

# 講習一覽

本講習は、文部科学省 令和4年度教員講習開設事業費等補助金に採択されました。

※講習カテゴリー（文部科学省で定められた講習分類）

- ①国の教育政策や世界の教育の動向
- ②教員としての子ども観、教育観等についての省察
- ③子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む。）
- ④子どもの生活の変化を踏まえた課題
- ⑤学校を巡る近年の状況の変化
- ⑥学習指導要領の改訂の動向等
- ⑦法令改正及び国の審議会の状況等
- ⑧様々な問題に対する組織的対応の必要性
- ⑨学校における危機管理上の課題
- ⑩免許法施行規則第二条第一項の表備考第五号に規定するカリキュラム・マネジメント
- ⑪育成を目指す資質及び能力を育むための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ⑫教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）
- ⑬進路指導及びキャリア教育
- ⑭学校、家庭及び地域の連携及び協働
- ⑮道徳教育
- ⑯英語教育
- ⑰国際理解及び異文化理解教育
- ⑱教育の情報化（情報通信技術を利用した指導及び情報教育（情報モラルを含む。）等
- ⑲前各号に掲げる事項のほか、幼児、児童又は生徒に対する教科指導及び生徒指導上の課題に関する事

※講習時間のうち受講生が行うワーク時間が1/3程度入っている講習があります。

※講習は随時追加を予定しています。追加した場合はホームページでご案内・申し込まれた方にお知らせします。

※主な対象職種 小…小学校教諭 幼…幼稚園教諭・保育教諭 保…保育士

講習番号	講習タイトル	内容	講習カテゴリー※	講習時間	主な対象職種※	教員名
1	日本型 or 欧米型学校教育比較から日本と世界の教育の“いま”を見てみよう	本講習では、日本における最新の教育動向を踏まえつつ、欧米諸国や日本の周辺諸国での教育改革の動きと比較分析を行う。 また諸外国の優れた実践等について幅広く取り上げることで、幼児教育の分野における特徴的な取り組みについて理解を深めることを目的とする。 そして教諭として求められる知識・技能を高めることを目指す。	①⑪ ⑬⑰ ⑲	90分	小・幼・保	井上 敏孝
2	「おおきなかぶ」を視点とした幼児期から学童期以降への学びの接続	「おおきなかぶ」の元となったお話が大正期に日本に紹介されて以来、「おおきなかぶ」のお話は長く子どもに親しまれてきました。幼児教育の現場や小学校国語教科書でもなじみ深いこのお話の受容を通して、幼児期から学童期以降への学びの接続を考えます。	⑲	90分	小・幼・保	岡 美佳
3	幼児期・学童期の運動遊び	体を動かすこと・運動あそびをする機会や環境が少なくなり、体力・身体能力の低下が問題視され、色々な試みがされている。本講習は、幼稚園から小学校（低学年）の子どもの発達について理解を深め、幼児期運動指針に取り上げられている多様な動きや基礎的な運動能力についても触れながら「運動遊び」を理論と実践を通して考えていく。また、身体操作法についても考えていく。	⑲	180分	小・幼・保	加藤 達雄 村上 成治
4	こども理解に基づく幼児教育～非認知能力とは～	5歳児ともなると一つの遊びに熱中する姿はよくある。「5回連続のコマ回しに挑戦する5歳児の動画」を視聴し、非認知能力について考える。非認知能力とは、学力以外の生きるための人間力…という言葉で表しても良いのではないだろうか。その能力にはどんな力が秘められているのだろうか。5歳児の中ごろから後半にかけての時期にこれらの体験を積み重ねることで小学校進学前の幼児に与える影響を考える。	⑪	90分	幼・保	坂口 静子

5	保護者との信頼関係づくり	子どもの育ちから考える「保護者との信頼関係を生み出せる、より良きかわり方」について、ワークや質問と解説などを交えて「アクティブに独習できる」構成の教材です。	⑨	180分	小・幼・保	佐谷 力
6	命を伝える教育	限られた人生の中で生きていくということをこども達にどう伝えるのかを考える。	⑭	90分	小・幼・保	荘司 泰弘
7	「子どもを尊重する保育」について	本講座では「子どもを尊重する保育」とはどのような保育なのか、保育者の考え方や援助、環境の在り方について考える。「子どもを一人の人間として尊重する」という意識を保育者が持つことは、とても重要なことである。また日常、自らが実践している保育や子どもとのかかわり方について振り返る。子どもを尊重する保育の在り方について考察することで深い子ども理解や保育者としての専門性の向上を目指す。	⑭	90分	幼・保	白川 晴美
8	児童虐待の防止と教育現場の役割	事例検討を通して、児童虐待問題について、小学校・幼稚園などの教育現場や、個々の教員・保育者にどんな役割が期待されているかを具体的に考えていく。	⑭	180分	小・幼・保	昇 慶一
9	教室英語・英語の聞き取りと発音の練習	教室でよく使う英語表現を紹介する。児童英語絵本の聞き取り練習、そして、日本語の話者にとって聞き取りにくい・発音しにくい英語の聞き取り練習と発音練習を行う。	⑯	180分	小・幼・保	ビル・ロッケンバッハ
10	コード伴奏を使いこなそう！	伴奏法の基礎となるコード伴奏を音楽理論から学習し、小学校共通教材・幼児歌曲の弾き歌いを通して実践します。また簡易伴奏を基本として、様々な伴奏形や演奏方法を試みることで、音楽表現の変化を体感し、より表現豊かな伴奏法の習得を目指します。	⑭	90分	小・幼・保	丸井 理恵
11	パワーポイントでの教材作成について	パワーポイントの機能を活用した教材の作成を行います。解説のビデオ教材を視聴した後、自分で実際に作成します。	⑱	90分	小・幼・保	吉田 健
12	メディアとしての絵本の位置づけ	PISA ショック以降、読解、絵本の滑動が大きくクローズアップされている。絵本の推進の動きも活発であるけれど、だからこそ、絵本を渡すこと、絵本から見える社会についてきちんと知っておく必要がある。絵本の教育、保育における役割と課題について理解を深め、学年、年齢によって絵本の内容や使い方について考え、目的に応じた絵本を選ぶようになることを目指す。	⑫⑭	90分	小・幼・保	近藤 真理子
13	小学校学習指導要領からこれからの子ども対応を探る	学習指導要領の変遷から、子どもへの関わりに求められていることはどのようなことかについて概括する。そこから、子どもに起こっていること、問題となっていること、不登校、いじめ、などについて、発達の権利、意見表明権、学習権の保障の問題から考えていく。	⑫⑬	90分	小	近藤 真理子
14	特別な支援を求める子どもたちに、どう向かい合うか	1. 「問題行動」が多い子どもをどう指導するか ～4つの事例より 2. 障害のある子どもの理解と支援 ～3つの基本 3. 子どもが伸びる実践例・教材例 ～誰もが主役、正しいことより楽しいことから 4. 個別の指導計画の作り方 ～「訓練」にしないために	⑬⑭	90分	小・幼・保	五島 丸太
15	小学校における危機管理上の課題	学校の危機管理は時代とともに変容し多種多様となってきた。この講座では2つの視点でとらえる。 第1は、小学校学習指導要領の社会・理科にも示されている「自然災害」についての危機管理と学校の事故に対する危機管理についての視点。 第2は、「いじめへ」「保護者からの抗議や要求」等を危機管理として捉える視点。学校の危機を乗り越えるために「子ども」「教職員」「学校組織」の3つの立場から課題を明らかにし、それらの解決策を考え、個人や組織がどう対応すればよいのか考察する。	⑨	180分	小	藤田 敏朗

16	歌唱指導におけるピアノ簡単コード伴奏について	歌唱指導の際にピアノの伴奏により、音楽の響きづくりや豊かなイメージづくり、そして、歌いやすくするためにピアノの弾く機会が多くあるが、コード（和音）を用いた伴奏は、こども（生徒）にとっては、より一層メロディーが明瞭に聴こえるため、コード奏を用いることは効果的である。本講習では、これらを実際に演奏をしながら解説し、簡単なコード奏について理解したうえで弾くことができるようにする。	⑱	90分	小・幼・保	小谷 朋子
17	クラス集団づくり	保育・教育の場における「クラス」にはさまざまな個性をもった子どもたちが在籍しています。さまざまな個性をもった子どもたちが集まったクラスを、「集団として育てる」という視点を持つことが、クラス担任に求められている役割です。 この講習では、クラス集団を「育てる」とはどのようなことなのか、そのために保育者は何を考えなければならないかを人権の視点を基盤にしながら考えていきます。	⑥⑩ ⑬⑱	90分	幼・保	卜田 真一郎
18	オンラインを活用した保育の実践について	新型コロナウイルス感染症の影響により、休園をせざるを得ない状態から、オンラインを活用した保育が実践されました。本講習ではオンラインを使うことでできることを中心に、著作権に関することも触れながら説明いたします。	⑱	90分	幼・保	白井 由希子
19	つくって・あそんで・コミュニケーション！～自分だけの絵本作り～	基本的な絵本の作り方やテーマ事例を紹介しながら、ストーリー性よりも遊び心に焦点を置き、子どもたちが読んだ後に、もう一度、最初から繰り返し読みたくなるような絵本づくりを考えていきます。色や形、仕掛けやごっこ遊びも取り入れながら、子どもたちとのコミュニケーションも楽しんでみてください。	⑱	90分	小・幼・保	久保 葉子
20	保育者の専門性、質の高い教育、保育	子どもを取り巻く環境や社会の変化の中で、保育現場の機能や役割、課題が多様化・複雑化してきています。今まで以上に保育の質・保育者の役割・専門性の向上が求められています。子どもを軸にまんなかにした保育を展開することや繋がり合う教育・保育の営みがこそが、子どもたちの学びや育ちの保障になることは、間違いありません。学習指導要領の改訂動向を踏まえながら、今ある課題を肯定的に変換できることを目指します。	②⑥	90分	小・幼・保	中村 妙子
21	知っている！描画表現に生かせる！造形活動の表現技法のワンポイント	絵の具の溶き方から造形活動で使える表現技法まで紹介します。表現技法では手順を説明するだけでなく、ちょっとしたコツや簡単な応用の仕方もあわせて紹介します。絵の具も準備して、実際に試しながらやってみましょう。	⑱	90分	小・幼・保	平野 真紀
22	幼児期に育みたい資質・能力と育てたい10の姿	2017年3月に告示された学習指導要領の改訂において、学校教育全体としてどのような方向性で改訂が行われたかを概観した上で、幼稚園教育要領がどのように改訂されたのかについて学ぶ。また同時に、育みたい資質・能力を幼児期の終わりまでに育てたい姿（10の姿）に焦点を当てて考察する。	⑥	90分	幼・保	山田 薫
23	保育者としての子ども観、教育観についての省察	本講習では幼児自らが選び取り組む「好きな遊び」や「好きな遊びの時間」に焦点を当て、事例や資料の検討を通じて、実践の土台にある保育観と子ども理解のあり方を振り返り、保育者としての保育の原点を再確認する。また、幼児期に育みたい資質・能力の三つの柱「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力・人間性等」を子どもの具体的な姿から考えていく。次いで「好きな遊び」の教育的意義を理解し、改訂された「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」等を踏まえて、よりよい保育を実現するための環境構成や保育者の役割を学び、考察する。	②	90分	幼・保	輿石 由美子
24	子どもの生活の変化を踏まえた課題（カウンセリングマインドの必要性）	カウンセリングの理論をふまえ、「聴くこと」の意味について考えます。 交流分析や来談者中心療法をもとに、「無条件に相手（子どもや保護者）に対して関心を向けること」「耳を傾けて話を聞くこと」について理解を深めてください。 保育・教育において主体となる「子ども」と、それを取り巻く環境について、実態を捉える観察力を鍛え、「子どもとの接し方など」や「主体的な子どもの育成」についても一緒に考えましょう。 子どもたちや保護者と関係性を結ぶときに、良かったと思うことや困ったことを思い浮かべながら、講習を受講してください。	④⑱	90分	小・幼・保	大森 彰

25	子どもと言葉	<p>自分の考えや気持ちは、言葉に置きかえることができると、相手にきちんと伝わります。気持ちが伝わると、安心でき、自己肯定感が高まります。気持ちを聴きあうこちよさが、気持ちに共感するチカラを育み、おたがいの存在を尊重するつながりをつくります。子どもたちに提供したい「思いを言葉にして伝える」活動を実際に体験しながら、豊かなコミュニケーション力がはぐくまれる保育について考察します。</p>	⑱	180分	小・幼・保	沖本 和子
26	幼保・小連携の教育	<p>幼稚園と小学校の「学び」の違いや現状・課題を理解し、幼保・小連携の教育について学びます。幼稚園・保育所等での生活と、小学校生活の違いを自然に受け入れられるようなカリキュラムや、幼児と児童が交流するためのプログラムを紹介します。また、幼稚園・保育所等から小学校への円滑な接続のために、今後どのように幼保・小連携教育に取り組んでいけば良いかについて考えます。</p>	④⑤ ⑭	90分	小・幼・保	藤田 敏朗